

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	◎	コンビニ（商品企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチンの接種継続や気温上昇により、来店頻度の増加が期待できることから、景気については上向きになると想定する。
(東海)	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチンが完成したため、これから3か月のうちには景気はやや良くなると思う。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチンにより、人出は増えていくと予想される。新型コロナウイルスの変異種の危険性も含んでいるが、今のところは人出は増えると思われる。
	○	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種の計画見通しなどが見えてきて、前回よりも明るくなってきている。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種は遅々として進まないが、若干でも接種が進み、国民にも怖さの自覚が高まれば、少し回復するという期待が半分、自覚の低い国民の減少が進むことへの期待が半分である。
	○	百貨店（企画担当）	・前月までと比べて人出は明らかに増えており、消費者の購入意欲にも高まりを実感している。前年は3月以降急速に新型コロナウイルスの影響による売上の減少が顕著になったため、本年3月は、前年と比較すると売上は30%増加で推移しているが、一昨年との比較では80%程度にとどまっており、本格的に戻ったとは言いがたい。特にファッション衣料・雑貨に対する購入意欲の戻りが遅い。
	○	百貨店（営業担当）	・緊急事態宣言が解除となり、ワクチン接種も始まり、経済活動も緩やかに回復していくと思われるが、生活様式や買物の仕方の変化が定着していくことが予想される。
	○	百貨店（業績管理担当）	・新型コロナウイルスの影響の外出自粛などにより客の買物需要が高まっており、緊急事態宣言の解除をきっかけに少しずつ外出や買物が増えてくると予想される。
	○	スーパー（店長）	・ゴールデンウィークには、また食費に費やす金額が増えてくる見込みである。
	○	スーパー（ブロック長）	・新型コロナウイルスの影響次第であるが、ワクチンの接種が進み、外出と観光に人が戻り消費が活発になれば、恩恵を受けていた小売業は元に戻るが、他業種は良くなると思う。
	○	コンビニ（企画担当）	・新型コロナウイルス感染者数はリバウンドの状況であるが、人々の動きは活発化しており、来客数は増加していくと思われる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・このあと新型コロナウイルスの第4波はあるかもしれないが、ワクチンと東京オリンピックの気運で景気はやや回復すると思う。
	○	コンビニ（エリア担当）	・暖かくなり、来客数は増加する傾向になると考えるが、一方で新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念されることもあり、右肩上がりの伸長になるかは、不安が残る。
	○	衣料品専門店（売場担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりつつあるが、全国民の接種が可能になると、気持ちの問題も含めこれまで抑え込んでいた消費意欲が拡大すると考えられる。
	○	衣料品専門店（販売企画担当）	・緊急事態宣言解除の効果が始まると思われる。
	○	家電量販店（営業担当）	・緊急事態宣言も解除され、季節要因も影響し人の活動が活発になり経済に動きが出てくる。
	○	家電量販店（フランチャイズ経営者）	・新型コロナウイルスの第4波が顕在化しているが、ワクチンと新型コロナウイルス慣れにより、今まで巣籠りしていた高齢者の客が戻ってくるのではないかと思う。
○	乗用車販売店（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されて、人の動きが多くなれば消費も上がるのではと思う。ただ、人の動きが活発になると新型コロナウイルスの感染者がまた増えてくるので、その繰り返しではないかと思う。	
○	乗用車販売店（販売担当）	・緊急事態宣言が解除されて新型コロナウイルスに対する警戒感が薄れてきているため、徐々に今までどおりの販売の形に戻っていく。	
○	住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で飲食店や住宅のリフォームなどは相変わらず様子見が続いているが、改修工事など少額案件については契約がまとまり始めているため、少しずつ良くなる傾向にある。	

○	その他専門店〔貴金属〕 (経営者)	・東京オリンピック景気に期待する。
○	観光型ホテル (経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まると、悪い材料は打ち切られるので今よりは良くなると判断する。ただ、政府の景気対策が余り実施されないと、回復状況は非常に弱いものになるという懸念がある。思いがけない感染の拡大や感染者数が高止まりとなると、景気も落ちていくのではないかと懸念も十分ある。
○	都市型ホテル (営業担当)	・緊急事態宣言解除後に個人需要は飲食施設を中心に伸びてきている。ランチタイムは主婦層、家族層を中心に伸びており、今後は接待需要が伸びるかが良くなるポイントと思う。
○	タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まって、効果が上がり安全安心になれば、歓送迎会や花見など通常イベントの客や夜の街の客も戻り、もう少し売上も戻ってくるのではないかと期待する。
○	通信会社 (営業担当)	・季節的にも暖かくなり、活動しやすくなった人々が外に出ようになると思う。
○	美顔美容室 (経営者)	・当地では新型コロナウイルスの感染者数が少しずつ減っているため、客も少しずつ戻ってきてくれると思う。
○	美容室 (経営者)	・高齢者向けに新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるため、気候も良くなり夏場に向けてパーマを掛ける人が多くなるのではないかと願う。
○	住宅販売会社 (従業員)	・家時間が長くなればなるほど、戸建て住宅の有り難みが出てきている。大型連休があればあるほど、旅行には行きたいが安全な家の良さが分かる。戸建て住宅の購入は更に増えると思われる。
○	その他住宅〔室内装飾業〕 (従業員)	・年度が替わってからの企業設備投資が決まっている。
□	商店街 (代表者)	・イベント等も縮小あるいは中止の状況が続いており、人出が本当に少ない。現況が続くと思われる。
□	商店街 (代表者)	・来客数がこのところほとんどなく、開店休業状態である。この傾向がまだしばらく続くか、若しくはこの状態が普通になってくるような気がする。
□	商店街 (代表者)	・この1年間、良いと思ったら何度も落ち込んできたので分からない。
□	一般小売店〔結納品〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの感染がこのまま収まるとは思えない。当分続くと思う。
□	一般小売店〔贈答品〕 (経営者)	・3か月先でも新型コロナウイルス対策の自粛ムードは急激には変わらない。冠婚葬祭の付き合いを見ても、広げるといっても現状維持、又は少数で物事を進めるなど葬式の来賓や弔辞も少なくし結婚式の参加人数も減らしている。この状況が3か月先も続くと思うため、経済状況は変わらないと考える。
□	一般小売店〔酒類〕 (経営者)	・仮に新型コロナウイルスの感染が収束に向かっても、客の警戒感はずっと解けず、しばらくは飲食店への客足は戻ってこないと思う。
□	一般小売店〔生花〕 (経営者)	・この状況は新型コロナウイルスの感染が収束するまで続くと思われる。
□	一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは変わらない。
□	一般小売店〔書店〕 (営業担当)	・引き続き夏頃までは新型コロナウイルスの影響が続くと思われるが、世間の慣れも出てきているので、経済活動は回復するものと考えられる。
□	一般小売店〔和菓子〕 (企画担当)	・新型コロナウイルスの感染状況が今後どうなるのか定かではないため、分からない。
□	百貨店 (売場主任)	・海外ブランドの商品がなかなか入荷してこないため、客に購買意欲があっても在庫がないという商品が若干ある。メーカーも作り置きをせず在庫を持たないようにしているため、客に迷惑を掛けていて、売上もその分伸びない。
□	百貨店 (総務担当)	・新型コロナウイルスの変異種の動向や感染者数の動向、リバウンド、第4波もささやかれているなか、客足への影響は避けられず、一定の入店客はあるものの、ゴールデンウィークにおける旅行者需要の取り込みは厳しいと想定する。
□	百貨店 (経理担当)	・長引く新型コロナウイルスの影響により、飲食店は総じて悪いが、夜の営業店は壊滅的である。

<input type="checkbox"/>	百貨店（計画担当）	・現在は新型コロナウイルス禍も小康状態であるが、しばらくは感染者数が増減を繰り返すと考えられる。特に高齢者層はそのような状況には敏感なので、来客数は増減を繰り返すと考えられる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染状況がどうなるか予測が難しい。落ち着けば徐々に好転し始めるだろうが、大きな期待はできない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	・来客数は増えていると思うが、売上は新型コロナウイルス発生以前に戻ってはいない。暮らし方の変化を感じる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・良くなる要素もなく、このままずっといくのではと思う。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がまだ浸透していないため、今の状況が続くと思われる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（支店長）	・新型コロナウイルスの影響で打撃を受け、ワクチンもまだまだ先の話のようで、しばらくはこの状態が続くのではないかと思われる。せめて夏までには見通しが立つ状況になることを期待する。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業企画）	・新型コロナウイルスの感染者数はしばらく増減を繰り返すと思われる、販売動向はそれに連動する形で上下すると思われる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・季節的には本来伸張する時期ではあるが新型コロナウイルス禍のため、現状の数値を確保するために、主力商品である米飯、夕夜間に需要がある生鮮品などの品ぞろえを強化する。来客数改善のためのエンターテインメント企画も継続して実施することで維持を図る。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス第4波ともいわれており、花見、祭りや自治会の会合などの自粛が続いており、まだまだ新型コロナウイルス発生以前には戻らない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルス終息の見当が付かないため、大きな改善は期待できない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（本部管理担当）	・株価は好調であるが、小売業を営む上では恩恵を感じない。3か月先に関しても新型コロナウイルス感染者数が左右し、首都圏を中心に1日当たり100人以下の感染者数となったときには、景気にも良い傾向が出ると思う。今のところそのような傾向には見受けられないので、変わらないと判断する。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・日照時間が長くなって気温も上がってくるため、ドリンクやアイスクリームなどを求めて来客数も増える。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・2年前の売上に戻ることは、もうしばらくない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・順調に販売は推移している。ここしばらくは底堅く買換え需要が続くそうである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・仕事量は減らない感触である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・ちょっとしたきっかけで好転も暗転もするような状態が続いているが、2～3か月でこの状況が大きく変わる様子にない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新規来客数は少なくなっており、自社客からの買換えが唯一の販売方法になっているが、全体的に長く乗る傾向になっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・例年春の祭りが各地で催されて活気付くが、今年も新型コロナウイルス禍のため相次いで中止となっている。まだまだ社会全体に元気がみえないが、気候も良くなりゴールデンウィークも控えており、客の気持ちにもゆとりが生まれることを期待し、少しでも来客数が増加するよう努めたい。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・楽観も悲観もしていない。今までの流れから良くなったり悪くなったりはするものの、取り立てて悪い予感も楽観的な要素もないので、景気は変わらないと判断する。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染がこのまま収束することは期待できない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔書籍〕（店員）	・その時点の新型コロナウイルスの感染状況に影響されると思うが、ゴールデンウィークなどもあり、今まで我慢していた消費がレジャーなどに流れると、売上は見込めない。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は前年比マイナス5.8%、来客数は前年比マイナス10.0%である。来客数は減少しているものの、客単価が3割程度上昇しており、特に書店などで著しい。

<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営企画）	・現在の回復は一時的なものであると思われる。外出自粛、時短などの繰り返しにより、総じて大きくは改善しない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がまだ続きそうである。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響は収まらないと思われる。現状維持が今できることと考える。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（従業員）	・あと半年は厳しい状況が続くと思う。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・今までとは違うスタイルを確立していくための期間に入っていくので、全くの手探り状態である。何となく浮き足立った状態が当分続く見込みである。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（支配人）	・緊急事態宣言が解除されたとはいえ、新年度となる4月から先を見ても、今まで恒常的に行われていた一般宴会は一向に戻る気配はない。宿泊人員も同様で、前年比400%以上であっても一昨年と比べると30%前後にすぎず、数値的感覚がおかしくなってしまう。ここに来て新型コロナウイルス感染者数もまた増えつつあり、新年度のスタートからつまづくことは明らかである。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（従業員）	・製造業の出張客は少し戻ってきている。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（経営者）	・客の動きが鈍いため予約が入らない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（総支配人）	・3月末以降も予約は増えてこない。一部の会議を除き宴会はない。レストランは、ランチを中心に少し動きがあるものの、新型コロナウイルスの感染状況次第で大きく左右される。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者数が収束に向かうと思えないくらいの人々の移動が始まる。ショッピングセンターは新型コロナウイルス発生以前の混み具合に戻っている。この調子では下げ止まりでは済まず、拡大に向かい第4波、第5波とずっと繰り返し、安心して旅行を申し込めるのは随分先になると思われる。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	・Go Toキャンペーン再開の見通しが立たない間は期待できない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・繁華街の動きは全然変わらない。人も少なく、流れも3～4か月前とほとんど変わらない。良くなるムードはない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・現状の販売状況が当面続くと思う。
<input type="checkbox"/>	通信会社（サービス担当）	・引っ越しシーズンを迎えるので、引っ越しとともに新規申込みが増加すると思われる。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・まだまだ有線インターネットの需要は変わらずあると思うため、この忙しさは続くと思われる。
<input type="checkbox"/>	レジャーランド（職員）	・新型コロナウイルス感染の第4波が始まっているとの見方もあり、感染者数の増加による出控えが懸念される。前年の4～5月は臨時休業を余儀なくされた。今年のゴールデンウィークは感染防止対策を講じて営業し、集客の分散化を図りたい。
<input type="checkbox"/>	観光名所（案内係）	・桜の開花や入学、その他の春らしい祭りが開催されることもあるが、縮小して行うなど新型コロナウイルス次第である。新型コロナウイルスの感染防止対策がうまくいくように願う。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（支配人）	・5～6月はゴルフシーズンであるが、入場者予約数は前年比で減少している。しかし、最近の傾向から当日までに段々と増えてくると予想する。ここしばらく景気は余り変わらないと考える。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの感染者数が減らないため、市内の人と市外の人ではかなり感じ方に温度差があり、市外の人からは市内に入るのを避けている様子である。したがって、景気は変わらないと考える。
<input type="checkbox"/>	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・良くも悪くも動向は、世間の新型コロナウイルスの感染状況次第とみている。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（経営者）	・先の景気は現在のような小規模案件の数によるため、余り良い変化はないと思われる。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（職員）	・これから新型コロナウイルスは終息に向かうと思われるが、新型コロナウイルスのワクチンがなかなか出回らないという状況は、景気減退に影響してくると考える。

□	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルス禍も長引きそうで、大きな変化はみられないと思われる。
□	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・今月は増加したが、また新型コロナウイルス感染者数が増加傾向なので、先が見えない。
▲	商店街（代表者）	・今月は人の移動が多い月であり、多少の需要増加も見込めたが、5月くらいにはまた動きが落ち着くと思われる。
▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	・東京オリンピック前で、ビリビリしているはずである。緊急事態宣言の再発出等、締め付けの強さは過去最高になっていると考える。
▲	スーパー（経営者）	・今月の売上は2～3か月前より良くなっているが、新型コロナウイルスの第4波を心配している。
▲	スーパー（店長）	・今後新型コロナウイルスのワクチンを一般の人も接種できるようになれば外食や外出も増え、前年の新型コロナウイルス特需と比較すると、来客数、買上点数共に厳しくなっていくと思われる。
▲	スーパー（販売担当）	・消費税込みの価格表示になり値上がり感が強いいため、皆買い控えるのではないかと考える。
▲	スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き始め、外出や外食が増えてくるのではないかと推測する。内食で良い物を買う傾向が減るのではないかと思う。
▲	乗用車販売店（経営者）	・自動車用半導体の不足による減産の影響で、新車販売台数の減少が長引く可能性が高い。
▲	乗用車販売店（従業員）	・全国民が新型コロナウイルスのワクチンを接種するまでは、良くなったり悪くなったりを繰り返す。今は少し落ち着いているが、新型コロナウイルスの感染者数が増えてくると、また悪い方向にいくのではないかと思う。
▲	乗用車販売店（従業員）	・エコカー減税が変更になり、車種によっては10万円近く税金が上がるため、3月に駆け込みがあった反動が非常に心配である。新型コロナウイルスの感染者数の動向次第では、前年のような大打撃を受ける懸念もあり、非常に心配である。
▲	乗用車販売店（営業担当）	・3月下旬から市場は止まり来客数も激減している。4月の閑散期に加え、新型コロナウイルス第4波の話も出ているなか、スエズ運河のコンテナ船座礁もあり、欧州からの輸入品を扱っているため、今後の物流に影響が出ることは避けられない。
▲	一般レストラン（経営者）	・長引く新型コロナウイルスへの対策を各家庭で採っているが、自分自身を含め、段々と外出をしないう癖が付いてきたように感じる。
▲	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチンが行き渡るまでは自粛がしばらく続くと思われ、取引先の多くが投資を先送りしたり、客自体も減っている。
▲	旅行代理店（経営者）	・緊急事態宣言解除で人の流れが一気に増えているので、新型コロナウイルスの感染者数が増えるのではないかと。ニュースの予想グラフをみていると、今手配した旅行がキャンセルになるのではと心配である。ゴールデンウィークの予約や夏休みの予約も余り増えないので先行きも心配で、このまま店舗を維持できるか閉めるかの岐路にきている。手厚い支援金があれば安心できる。
▲	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の遅れなどにより、人の移動、とりわけ外国人観光客や留学生に依存しているホテル、免税店、交通運輸業界、日本語学校、専門学校、大学などは、新規入国者が2年連続して停止している状況では今後、経営が継続不可能になってくる。老舗のホテル、レストランの廃業などとあいまって、連鎖的に影響が出てくる。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染者数が増えている。
▲	通信会社（企画担当）	・スマートフォンの低価格サービスが始まったため、これまでの固定回線と携帯回線の両方を使っていたところでも、携帯回線のみにして固定回線を節約する客が増えるように思われる。
▲	テーマパーク職員（総務担当）	・新型コロナウイルスの変異種の感染者数が増えており、リバウンドがゴールデンウィーク辺りに来ると思われる。
▲	パチンコ店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続き、業界全体の集客率も落ちている。
▲	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・緊急事態宣言解除後の新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向との報道もあり、客の動向に変化がなさそうなのである。

	▲	理美容室（経営者）	・客との会話から、給料は増えないが物の値段が段々と上がり、景気は悪くなっていくと考える。
	▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響のため景気はやや悪くなると判断した。先行きがまだ分からないということが怖い。
	×	商店街（代表者）	・これから新型コロナウイルスの第4波が襲ってくると思われるため、景気は悪くなると考える。新型コロナウイルスのワクチン接種も、今秋までには行き渡らないであろうし、ましてや夏までにはほとんど進まないと考え。
	×	百貨店（経理担当）	・緊急事態宣言解除後の感染防止意識の低下と変異種の拡大に伴う新型コロナウイルス感染の再々拡大によって、市民生活が制限されて消費が冷え込む事態が生じると考える。
	×	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの第4波が来て、第3波よりひどい状況になるかもしれないと危惧している。
	×	スーパー（店員）	・取引先から4月より油の仕入価格を値上げとの通達に来て、豆腐も値上がりすることになり、価格も変更せざるを得ない状況になった。この値上げは客がダイレクトに感じる品目なので、間違いなく消費は冷え込むと感じる。
	×	スーパー（商品開発担当）	・前年の新型コロナウイルスによるプラスの売上が見込めなくなり、前年を割る形で推移していくのではないかと思う。前年のプラス分が大きく、次の対策が必要だが明確な策が打てずにいるため、景気は悪くなっていくと感じる。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大による第4波が現実視されていて、先行きが見通せない。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染が収束するまでは見通しが立たない。
	×	乗用車販売店（経営者）	・4月以降の販売量は、例年のことではあるが確実に減っていく。伸びる要因も余り見当たらない。
	×	旅行代理店（経営者）	・Go To Travelキャンペーンの再開と新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないと、旅行業の復活は難しいと考える。
	×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り難しい。Go To Travelキャンペーンも再開延期であるし、インバウンドも来ない限り、どんどん悪くなっていく。
	×	理容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が早く収まってほしい。
	×	住宅販売会社（従業員）	・他社は売上が落ちているようで、倒産するようになると消費者のマインドが下がるため不安である。
企業 動向 関連  (東海)	◎	—	—
	○	食料品製造業（経営企画担当）	・新しい年度を迎え、少しずつ良くなることを願いたいですが、2～3か月後にどのような状況になっているかは予測が付かない。
	○	化学工業（総務秘書）	・新型コロナウイルスのワクチンの普及による景気回復に期待している。東京オリンピックは、外国人旅行者を招くことができなくなってしまったため、開催できても景気に大きな好影響は期待できない。
	○	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・東京オリンピックの開催に向け、景気が上向きになることを祈る。
	○	輸送業（従業員）	・荷主の業種にもよるが、当地では自動車産業を中心として荷動きは上向きになっている。新型コロナウイルスの感染再拡大さえなければという話ではあるが、ゴールデンウィークまではこの調子でいくのではないかと推測する。
	○	通信業（総務担当）	・東京オリンピックを控えて、景気上昇が期待される。新年度になり、気持ちも新たに活動が活発になると予想する。
	○	金融業（従業員）	・工場関連の勤務者からは、比較的上向きで今後も忙しい状況が続くという声が多く、飲食関係の勤務者には、新型コロナウイルスの影響で今後どうなるか分からないという声が多い。工場関連の勤務者の回答をメインとし、景気は若干上向くと考える。
	○	不動産業（経営者）	・不動産市況は、賃貸案件が市況をけん引し売買案件なども活発化すると考えられる。
	○	広告代理店（制作担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が、緊急事態宣言解除後もリバウンドしないようなら、各企業は広告予算も増やす方向になると思われる。
	○	新聞販売店〔広告〕（店主）	・折込広告が徐々に増えている。
	○	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・継続して受注量があると思うが、学校関係については見通しが不明である。

□	食料品製造業（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されても、既に閉店した店舗も多く、受注量の減少は変わらない。
□	化学工業（営業担当）	・基本は現状維持の見込みであるが、新型コロナウイルス第4波の影響で、外食産業向けの業務用洗剤や香料等の需要低迷が懸念される。
□	窯業・土石製品製造業（社員）	・リチウムイオン電池関連、精密鑄造や3Dプリンター関連製品の引き合いは相変わらず多く、受注量は現状を維持できる。
□	一般機械器具製造業（営業担当）	・北米ではまだ新型コロナウイルスの流行が続きそうで、なかなか以前のように客を訪問して情報を入手することが難しい。
□	一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みから景気は変わらないと判断した。
□	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの関係でまだまだ難しい状況のため、取引先の状態が良くなるまでは、全体も良くならないと思う。
□	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・航空機製造業は、良くなる原因がまだ存在しないためしばらく底のままだと思う。自動車製造業は順調だが、余り良くも悪くもならない感じである。
□	建設業（営業担当）	・直接的には新型コロナウイルスに関係のない業種に携わっているが、新型コロナウイルスの兼ね合いで国、県や市町村の方針が窮屈に変わってくると、取引先等でも仕事がストップしてしまう。今後の新型コロナウイルスの感染拡大やリバウンド状況は、良くなるかも悪くなるかも全くめどが立たないことは変わらないので、何ともいえない。
□	輸送業（経営者）	・先行き不透明な状況が続くと思われる。
□	輸送業（エリア担当）	・2～3か月先の景気動向は今とほぼ変わらないと思う。東京オリンピックに向けて、経済にとっての起爆剤となるような発奮材料があるが、観客を海外から呼ばないなどのいろいろな措置が採られることで、人の往来に基づく景気の活性化は、思っているほど潤うかどうかはうかがいしれない。
□	輸送業（エリア担当）	・同業他社が随分安い単価を客に提示して荷物を取りにきている。数年前までの動きのようにならないとよいが、過去には、荷物を取り合い値段がどんどん下がってしまった。
□	輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルス禍で旅客航空機が少ないと想定する。
□	金融業（企画担当）	・まだまだ業種により新型コロナウイルスの影響は大きい。景気回復にはまだまだ時間が掛かるとみられる。当面は、現在の景気が続く。
□	不動産業（経営者）	・4月の天候は例年同様に晴れの日が多い予報であるが、今後も新型コロナウイルスの影響を受けて出費を控えることから、売上の厳しい状況は継続すると思われる。
□	行政書士	・トラックの動きが普通である。
□	会計事務所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み感染や重症化のリスクが明らかに軽減されると実感するまでは、これまでどおりの慎重な行動を続ける人が多い。国内旅行も、Go To Travelキャンペーンの再開までは低調と考える。
□	会計事務所（職員）	・いまだ新型コロナウイルスの感染が収束する様子はないが、売上は感染拡大前と同等の水準を維持できている。新型コロナウイルス慣れの影響もあるのか、飲食業や旅行業など一部の業種を除き、これ以上景気が悪化することはないと思われる。
□	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・この良くない状態はまだ1年間続くと考えるため、多くを望まず、間違いのない経営を行う必要がある。先のことは見通せないが大変厳しい状態と考えるため、新しい製品を考案し先へつなげたい。
▲	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が大幅に遅れ、さらに第4波となる拡大で新型コロナウイルスの終息が見通せず、景気はやや悪くなる。
▲	鉄鋼業（経営者）	・年明けからは新しい仕事や見積りが最も増える時期であるが、今年は、各企業の予算削減や新年度の予算組みの遅れなどから非常に少ない。通常と比べて7～8割ほどで、見積りすら減少している。
▲	金属製品製造業（従業員）	・仕事量に心配がある上に、鉄材やステンレス材の高騰により、利益面でも苦しくなってくる。
▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・工数不足による人員削減の傾向には改善が見込めない。

	▲	電気機械器具製造業（総務担当）	・通信系機器に必要なチップ部品の供給が遅れ気味で、光端末機器の仕入先から、納入時期を1年先とする注文書の発行を要求されている。半導体部品の供給不足は、今年末から来年に掛けて更に深刻な問題になるのでは、と懸念する。
	▲	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・半導体不足の問題がいつ収束するか分からないため、自動車業界では当分景気は良くなることはないと考えている。
	▲	建設業（役員）	・新年度は毎年落ち込む傾向がある。新型コロナウイルス禍が続いているので不安材料となっている。
	▲	建設業（経営者）	・国民は頑張っているが政治家の行動が裏腹なため、これでは日本が良くなるとは思えない。
	▲	通信業（法人営業担当）	・飲食関係の現場で働いている人々の仕事はかなり減っている状況や街のスーパーの話などから、まだまだ景気が改善するようには感じられない。
	▲	通信業（法人営業担当）	・新型コロナウイルス禍で新しい生活様式を確立しつつあるビジネスマンは、ランチタイムに皆で外食する習慣はなくなり、終業後の飲み会は過去の習慣となりつつある。そのなかで飲食店への休業補償は減額となり、しまいにはゼロになる。金を落とすようにビジネスマンの習慣が変わる一手がなければ、ますます外食産業を中心とした経済活動は回らなくなる。
	×	金属製品製造業（経営者）	・引き続き引き合いが減っており、悪くなるを考える。
	×	公認会計士	・新型コロナウイルス禍で経済活動が止まっていた時期の負の遺産をばん回すためには時間が掛かる。中堅中小企業の事業承継問題の解決には時間が掛かる。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（営業担当）	・求人数、求職者数共に増加傾向にあるが、業種、職種によって偏りが大きい。
	○	アウトソーシング企業（エリア担当）	・国内向け新型車種及び中国向けの販売が好調で、新型コロナウイルス禍の先行きが不透明な状況ではあるが、自動車生産については4月以降も良くなると見込んでいる。
	○	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況がどうなるかに尽きる。様子見をしながらゆっくりとでも回復していくのが望ましい。
	○	職業安定所（次長）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が解除され、業種によりばらつきはあるものの、新規求人数の前年同月比のマイナス幅は改善傾向が続いている。ただし、新型コロナウイルス第4波に注視する必要がある。
	○	民間職業紹介機関（支社長）	・1～3月の求人数は前年同期並みに回復してきている。
	□	人材派遣会社（経営企画）	・特段の判断材料がない。
	□	人材派遣会社（社員）	・まだ良くなる兆しが見えない。
	□	人材派遣会社（企画統括）	・緊急事態宣言の解除後に新型コロナウイルス感染者数のリバウンドの動きも見られ、引き続き不透明感が拭えない。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・当面は新年度採用した人材の見極め期間であり、次に動くのは7月であると見込んでいる。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・東京オリンピックが開催されたとしても、もはや景気への好影響は限定的と思われる。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・主要取引先における予算削減方針に変化はないため、3か月後も今月と状況は変わらないと考える。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・東京オリンピックの実施可否とその影響は不明だが、現在の新型コロナウイルスの感染状況では、景気は今後も悪いままで変わらないと考える。
	□	職業安定所（所長）	・雇用調整助成金を活用した休業等により雇用維持を図っている企業はまだ多く、先行きが不透明ななかで新規求人数は増加する様子が見られない。
	□	職業安定所（職員）	・3月末に掛けては事業主都合の離職者が増えるが、大きな変動はない。
	□	職業安定所（職員）	・当所管内の求人状況では小規模事業所の飲食・建築の新規求人が増加しており、新型コロナウイルスの影響を受けている産業といわれているが、報道等だけでは判断できない面がある。
□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス終息の見通しが立たないため、何ともいえない。	



□	職業安定所（次長）	・新型コロナウイルスの感染状況が現状以下で推移すれば、景気動向も現在と大きく変化はしないと考えるが、変異種ウイルス等の影響により感染が拡大傾向となれば、景気の下振れはあると考える。
□	職業安定所（次長）	・求人数の増加が見込める客観的要因が見当たらない。
□	民間職業紹介機関（窓口担当）	・例年の時期的な繁忙感はあるものの、トータルで見ると減少傾向である。このままワクチンなどの普及で落ち着けばという期待はあるものの、新型コロナウイルスの第4波の懸念も拭えない。また、関連している事業や東京オリンピックなどによる景気回復も、様々な制限から当初の見込みほど期待ができない。
□	民間職業紹介機関（営業担当）	・4月が期初となる企業が多く、活動意欲の高い候補者が減少傾向にある。
▲	人材派遣業（営業担当）	・東京オリンピック需要はないに等しく、リスクしかみえない。
×	—	—